



平成 29 年 9 月 7 日

株式会社 **メディアシーク**

代表取締役社長 西尾 直紀
(コード番号:4824 東証マザーズ)
問合せ先 取締役業務管理部長
根津 康洋
(TEL 03-5423-6600)

各 位

投資有価証券評価損（営業外費用）の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 7 月期通期決算において、投資有価証券評価損を営業外費用として計上する見込みとなりましたので、下記の通りお知らせします。また、平成 28 年 9 月 5 日に公表いたしました平成 29 年 7 月期（平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 投資有価証券評価損の計上について

当社が保有する投資有価証券のうち、簿価に比べ時価が著しく下落しているものについて評価した結果、投資有価証券評価損 23 百万円を営業外費用として計上することといたしました。なお、投資有価証券評価損は、連結、個別ともに発生いたします。

2. 業績予想の修正について

平成 29 年 7 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,562	64	93	51	5.23
今回修正予想(B)	1,527	△14	100	59	6.14
増減額(B-A)	△34	△78	7	8	
増減率(%)	△2.2	-	8.1	17.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 7 月期)	1,363	6	63	46	4.75

平成 29 年 7 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	895	51	42	4.31
今回修正予想(B)	951	81	63	6.49
増減額(B-A)	56	30	21	
増減率(%)	6.3	59.3	50.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 7 月期)	840	5	5	0.52

3. 修正の理由

平成 29 年 7 月期通期の業績予想について、法人事業においては教育分野など EdTech 関連を中心に企業向けコンサルティング及びシステム開発業務の売上が拡大し、法人事業セグメントとして前期比 15.9%の売上増を達成する見通しとなりました。また、コンシューマー事業においては、無料提供アプリ「バーコードリーダー／アイコンット」の広告収入の拡大等によりコンシューマー事業セグメントとして前期を上回る売上を達成する見通しとなりました。各事業セグメントがそれぞれ売上増を達成した結果、当社グループ全体として前期比 12%超の売上増を達成する見通しとなりました。

しかしながら、両事業セグメントとも売上高は前期比で拡大したものの、法人事業セグメントにおいて主にグループ会社における RPA(Robotic Process Automation)事業など、新規事業関連の運営コストが拡大したこと等により、連結経営成績における営業利益について平成 28 年 9 月 5 日に公表いたしました平成 29 年 7 月期通期の業績予想数値より大幅に減少する見通しとなりました。

また、平成 29 年 4 月 25 日に公表いたしました投資有価証券売却益の計上等により、個別経営成績における経常利益及び当期純利益については、平成 28 年 9 月 5 日に公表いたしました平成 29 年 7 月期通期の業績予想数値を上回る見通しとなりました。

その結果、連結経営成績における営業利益については平成 28 年 9 月 5 日に公表いたしました平成 29 年 7 月期通期の業績予想数値を下回る見通しとなり、個別経営成績における経常利益及び当期純利益については平成 28 年 9 月 5 日に公表いたしました平成 29 年 7 月期通期の業績予想数値を上回る見通しとなりましたことから、連結及び個別経営成績において上記の修正を行うものです。

(注) 本業績予想は、本資料発表時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づき作成しております。本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願いいたします。また実際の業績は、様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

以上